

(3) Discussion: エリアマネジメントの新たな活動と財源を考える

①. 青柳 一郎 氏 (内閣府 地方創生推進事務局 内閣審議官)

日本版BIDを含むエリアマネジメントの推進方策に関する検討会

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
内閣府地方創生推進事務局

検討会の目的

地域における良好な環境の形成、地域の価値の維持・向上、地域の稼ぐ力を高めるための官民連携したエリアマネジメント活動等について、その役割や課題を整理するとともに、BID (Business Improvement District) やTID (Tourism Improvement District) を含む海外の先進事例や国内の取組事例から示唆を得つつ、我が国におけるエリアマネジメントの推進方策について検討を行う。

検討体制・スケジュール

構成員：伊藤達也 内閣府大臣補佐官
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
内閣府地方創生推進事務局

参加省庁：国土交通省・経済産業省・総務省

意見聴取を行った有識者・地方公共団体関係者：

青山 公三 龍谷大学政策学研究科教授、
京都府立大学京都政策研究センター長
柏木 宏 大阪市立大学大学院創造都市研究科教授
小林 重敬 横浜国立大学名誉教授
坂井 文 東京都市大学都市生活学部教授
御手洗 潤 京都大学経営管理大学院特定教授
田中 義人 俱知安町議会議員
寺本 謙 大阪市都市計画局開発調整部長

スケジュール：

平成28年3月から6月にかけて、計4回検討会を開催
⇒平成28年6月30日に中間とりまとめ

中間とりまとめの内容

- ① 定量的な目標の設定(KPI)及び効果の「見える化」の推進
- ② 関係者の合意形成の促進、合意の継続性の確保
- ③ 公共性、公益性が高い活動に対する公的関与、費用徴収
- ④ 公共空間等の利活用による財源の確保
- ⑤ エリアマネジメント団体への資金提供の促進
- ⑥ 地方創生カレッジ等による専門的な人材の育成・確保
- ⑦ 地方創生推進交付金等による先駆的な取組みへの支援
- ⑧ 官民の協議会の設置等による官民連携の推進

1

まち・ひと・しごと創生基本方針2017におけるBID制度関係の記述

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
内閣府地方創生推進事務局

まち・ひと・しごと創生基本方針2017(平成29年6月9日閣議決定) (抜粋)

Ⅲ. 各分野の施策の推進

1. 地方にしごとをつくり、安心して働けるようにする

①一次産品や観光資源、文化・スポーツ資源など地域資源・地域特性を活用した「しごと」づくり

【具体的取組】

◎社会的事業を巡る環境整備

(略)

2. 民間からのアプローチ、行政からのアプローチ、裨(ひ)益する関係者間自前で支え合うアプローチなど、様々な角度から、事業の社会性に対し、幅広く認知を得るための以下の取組に着手する。

(中略)

第三に、BID/TID(Business/Tourism Improvement District)のようなエリアマネジメントの導入を目指すソーシャルベンチャーに対する、フリーライダーの出現を防止しやすくする方策の検討。

4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

②日本版BID等によるまちづくりの推進

【具体的取組】

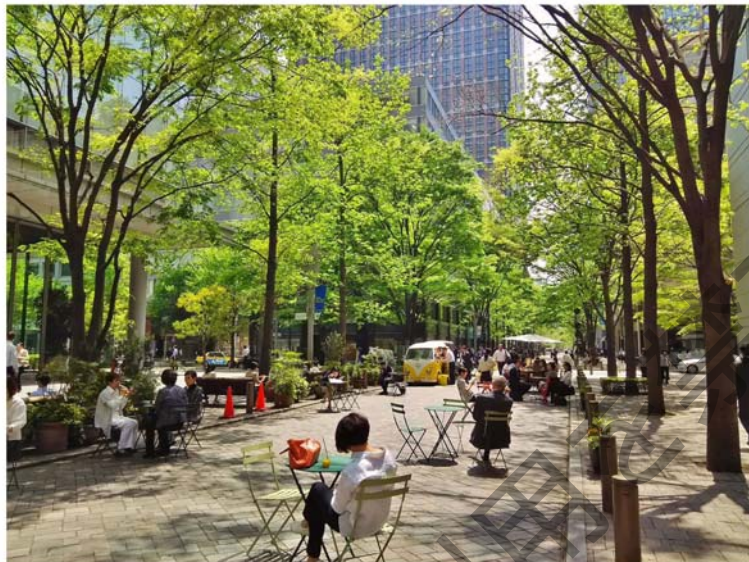
◎日本版BID

- ・平成28年6月の「日本版BIDを含むエリアマネジメントの推進方策検討会」における中間とりまとめに基づき、**エリアマネジメント団体の財源確保をはじめとするエリアマネジメントの推進方策の具体化に向けた検討を深めるとともに、エリアマネジメント活動の底上げと横展開を図る。**

2

②. 藤井 宏章 氏 (NPO 法人大丸有エリアマネジメント協会 事務局長)

大丸有エリアマネジメント協会 15年の振り返りと今後、そして財源



NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会 事務局長 藤井宏章
2017年9月6日

大手町・丸の内・有楽町地区



都市施設、建築物、交通、企業、人が高密度

建物棟数 約100棟 / 事業所数 約4,300 / 就業人口 約28万人
地区内上場企業92社の連結売上高 約135兆円 日本のGDPの約25%

多様な来街者 (皇居)

駅乗車人員 約139万人 (28路線13駅)

当地区の再整備 <Before>

in 1995



当地区の再整備 <After>

in 2016



ハード、ソフト両面からの再構築



リガーレのミッション

(目的)

第3条 この法人は、大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり懇談会が策定した「大手町・丸の内・有楽町地区まちづくりガイドライン」の趣旨・内容を尊重しながら、大手町・丸の内・有楽町地区を中心とした地域の活性化や環境改善、コミュニティの形成に関する事業を行い、その成果を多様な人々が享受することによって、地域社会ひいては東京並びに日本社会の活性化に寄与することを目的とする。(定款より)

15年を振り返って 当初の活動

6

丸の内ウォークガイド



7

丸の内軟式野球大会



8

リガーレセミナー・ママカフェ



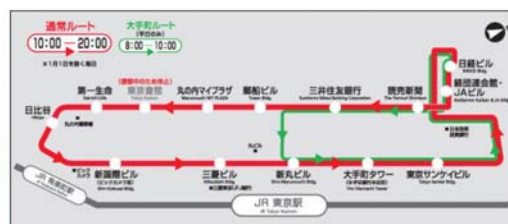
9

丸の内検定



10

丸の内シャトル（地区内無料循環バス）



11

地域コミュニティの形成・環境改善の推進役



- 積極的賑わい創出の担い手へ
- ・エリアマネジメント広告の事業主体
 - ・公的空間活用の担い手

12

エリアマネジメント広告事業



13

国家戦略特区制度

丸の内仲通り、行幸通り等におけるエリアマネジメントに係る道路法特例の適用

○ 丸の内仲通り、行幸通り等の特例適用区域において、道路上下空間を活用したイベント実施、イベント開催時のオープンカフェ設置等による賑わいの創出、都市観光の推進を図る。(実施主体:大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会等)

➡ 今秋、観光産業が一丸となって実施するJAPAN NIGHTを開催予定
(観光庁、日本政府観光局(JNTO)、(公社)日本観光振興協会、(一社)日本旅行業協会が展開する「ジャパン・トラベル・ウィーク」の開催セレモニーである「JAPAN NIGHT」を実施予定)

■ 国家戦略道路占用事業の適用区域及び想定されるイベント例

地上部分		地下部分
<p>オープンカフェ(丸の内仲通り)</p> 		<p>丸の内行幸マルシェ(行幸通り地下)</p> 
<p>東京丸の内益踊り(丸の内仲通り)</p> 	<p>打ち水プロジェクト(行幸通り地上)</p> 	<p>キッチンカーイベント(川端緑道)</p> 

丸の内仲通り



行幸通り



16

行幸通り地下

整備前



整備後



17

大手町仲通り・川端緑道

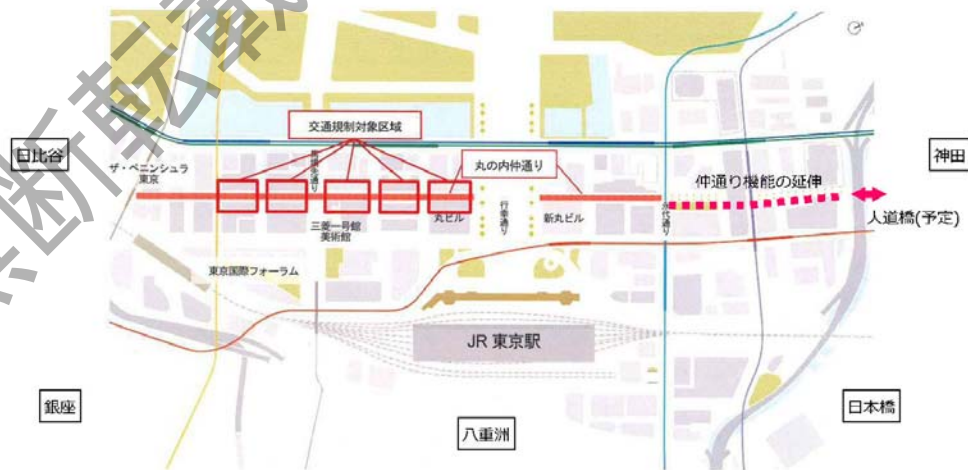


18

仲通りの車両交通規制

丸の内仲通り

1. 丸の内仲通り交通規制時間の拡大 (2015年7月31日より)



2. 交通規制の内容

- (1) 種類：通行禁止（歩行者用道路）
- (2) 時間：平日は午前11時から午後3時まで
土日、祝日は午前11時から午後5時まで
- (3) 対象：車両（自転車を除く）

19

丸の内仲通り 活気あふれる憩いの空間へ



20

ラジオ体操・綱引き

丸の内仲通り



21

Japan Night (2015年)

行幸通り



22

バイエルン州立青少年オーケストラ (2016年)

行幸通り



23



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、東京産の農林水産物等の「クールジャパン」文化を世界へ発信・浸透させるとともに、このエリアを国際的な交流空間として最大限活用する目的で実施。本年は2017年10月6日（金）～8日（日）に実施予定。

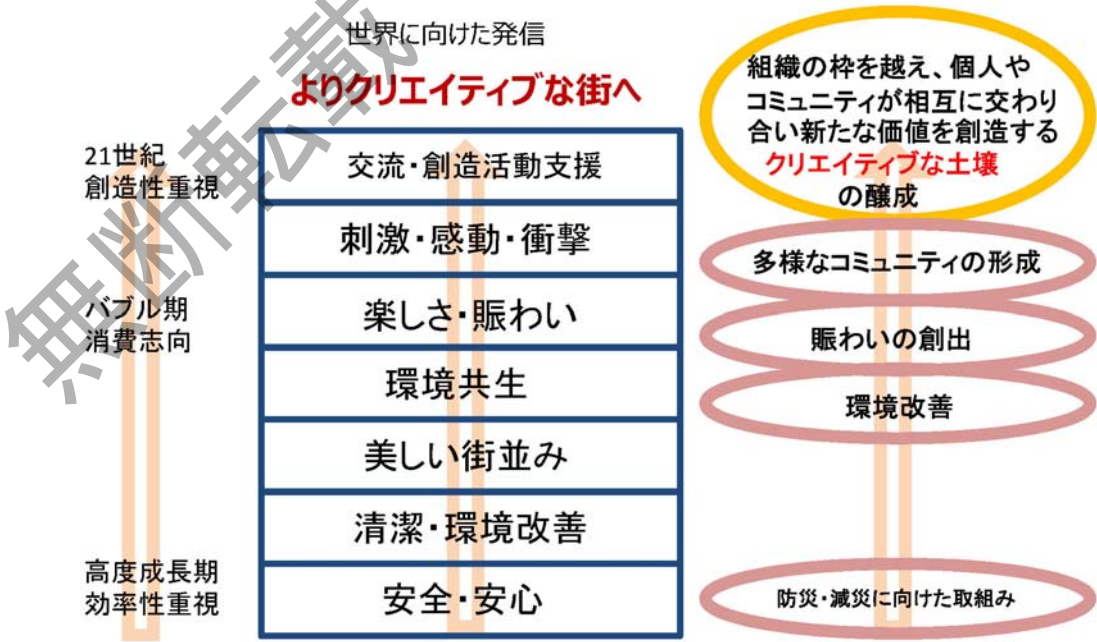


日本古来から脈々と引き継がれている世界に誇る日本文化の知恵、「打ち水」と「東京丸の内盆踊り」を実施。東京丸の内エリアのオフィス街で就業者、来街者に「涼」を体感してもらうとともに、地域の企業、店舗とのつながる交流の場を提供。

2016年初実施 ⇒ 2017年も開催



都心におけるエリアマネジメントの取り組み課題の進化・高度化



大丸有地区エリアマネジメントにおける新たな取組テーマ

賑わいの創出に加え
よりクリエイティブな土壌づくり

一般社団法人(2007年設立)
大丸有環境共生型まちづくり推進協会
(エコツヴェリア協会)



様々な社会課題の解決に向けた
ビジネス創発のネットワーク拠点・
コミュニティの運営



NPO法人(2002年都NPO認証取得)
大丸有エリアマネジメント協会
(リガーレ)

エリアマネジメント運営

街中の公的空間も活用しながら、
地区内施設の連携を推進し、
域内外・国内外のヒト・知恵の
交流活動を促進
→MICEの積極誘致

一つの新たな取組 - MICEの積極的誘致 - DMO組織の設立



DMO
TOKYO / Marunouchi

“M” - Meeting
“I” - Incentive tour
“C” - Convention
“E” - Exhibition, Event

構成メンバー:

東京国際フォーラム / 東京商工会議所 / 東京會館 /
日本郵便 (JPタワーホール&カンファレンス) / 明治安田ビルマネジメント株式会社 (MY PLAZA) /
三菱地所プロパティマネジメント株式会社 (丸ビルホール&カンファレンススクエア他) /
朝日新聞社 (有楽町朝日ホール他) / 日経プラザ&サービス (日経ホール&カンファレンスルーム) /
サンケイビル (大手町サンケイプラザ) / 読売新聞社 (よみうりホール、よみうり大手町ホール) /
鉄鋼ビル (鉄鋼エグゼクティブラウンジ&カンファレンスルーム) /
アマン東京 / アスコット丸の内東京 / 星のや東京 / 帝国ホテル / 丸の内ホテル /
オークウッドプレミア東京 / パレスホテル東京 / ザ・ペニンシュラ東京 / シャングリ・ラ ホテル /
東京ステーションホテル / 三菱地所株式会社
【アドバイザー】公益財団法人 東京観光財団
【コレボレーター】株式会社ジェイティービー / 凸版印刷株式会社
【オブザーバー】東京都 産業労働局 観光部 /
一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町まちづくり協議会

運営事務局: NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会

エリアマネジメント団体ならではのDMO東京丸の内の強み

- ・東京国際フォーラムをはじめとする大規模なコンベンション施設やホールコンファレンス施設、また世界トップクラスの多くのホテルが集積
- ・国内外を代表するハイブランドやライフスタイル提案型ショップ、カフェなどの約1000店にもなる質の高い店舗集積
- ・上記異業種の集積の掛け合わせをアレンジ
- ・行幸通り・丸の内仲通りなどの道路空間等公的空間も活用したイベントの実施実績



VENUES TOKYO/Marunouchi WEBサイト トップページ

30

リガーレの役割の進化・高度化

環境改善・地域コミュニティの形成の推進役

+ 積極的賑わい創出の担い手へ

+ 交流・創造活動支援

31

現状の活動財源（概観）

 が現時点でのリガーレの会計収支

三菱地所からの支援	5000万円？	人件費（7、8名）・オフィス賃料	
会費収入 （主に法人会費）	約300万円	一般管理費（通信費・システム費等事務経費）	
エリマネ広告・しゃれ街 管理手数料	約1500万円	各種イベント事業 ・打ち水・夏まつり ・エコキッズ ・丸の内野球大会 ・リアル謎解きゲーム 他	
イベントごとの協賛金・ 参加費収入	約4500万円		広報活動 ・HP運営 ・広報ツール作成 等
公的 空間 活用	まちづくり協力金収入	約1000万円	公的空間活用・アーバンテラスの運営 ・毎日の椅子・テーブルの設置・撤去 ・自主企画催事 ・立会い業務委託費 等
	キッチンカー賃料収入	約50万円	
	三菱地所他からの支援金	約1750万円	

財源における現状の課題

- 現状、リガーレとしての会費（300万円/年）以外の自主事業収入はエリマネ広告事業としゃれ街条例の代行手数料のみ（1500万円/年程度）。
活性化のための各種イベントの一部資金にはなるが、人件費・オフィス賃料を賄える規模にない。
街づくり活動に使える予算を増やす手段としては、会費収入を増やすか、エリマネ広告事業等自主事業を拡大するしかないが限界もあり。
- 道路空間活用における街づくり協力金については、現状まだ、モデル事業中のステータスで、なお、行政的な位置づけの整理が必要。
エリマネ広告事業の収入と同じように街づくり財源として認められるよう協議。
しかし、上記が認められても、道路空間活用の日常運営費用を賄うにすら不足。
- DMOの活動については、今後、会費＋個々の活動参加費にて賄っていく予定。

Thank you !

無断転載・無断利用を禁ず

34

③. 臂 徹 氏（株式会社キャッセン大船渡 取締役）



Background

背景

岩手県の沿岸南部に位置する大船渡市は、景勝地として知られる磐石海岸や三陸沿岸最高峰の五葉山など、山海の豊かな自然に囲まれた、風光明媚な人口約3万8千人の都市です。平成13年11月に隣接する三陸町と合併し、三陸沿岸の拠点都市として発展してきました。

同市では、商業・交易の要衝である県管理重要港湾「大船渡港」を中心に、基幹産業である水産業をはじめ、多様な産業分野の体力のある企業が存在し、市民や周辺自治体の就業の場となっていました。そのような中、同市は東日本大震災により、周辺の沿岸都市と同様に激甚な被害を受けました。現在は、社会基盤と市民の生活の場の再建およびコミュニティの再生を図るため、民間等と連携したハード・ソフト両面でのまちづくりが実践されています。

District position

地区の位置づけ

大船渡駅周辺地区（以下、駅周辺地区）は、震災以前には大船渡市の産業・経済の中心を担ってきた地区であり、隣接する陸前高田市や住田町からなる気仙地域の商業業務の中心地でもありました。官民の団体企業から構成される「駅周辺地区官民連携まちづくり協議会」において、下記の5点の方針を掲げ、復興後も商業業務機能を集積する地区に位置づけました。

- ①気仙地域の中心地として、広域的な商業機能と交流機能を重視した商業・業務系土地利用を図ること
- ②大規模な津波の場合は浸水が想定されるため、災害危険区域に指定して住宅や学校、病院等の立地は制限し、商業業務系土地利用を誘導すること
- ③都市機能を維持し、商業業務の復興をけん引するため津波復興拠点（市有地10.4ha）を整備すること
- ④津波復興拠点①～③の8つの街区に分割し、事業用定期借地権を設定し、事業主体に貸借すること
- ⑤市、商工会議所、借地人から構成されるまちづくり会社を設立し、地区全体のエリアマネジメント事業は同社を中心として実施すること

Layout plan

全体配置計画



①街区	②街区	③街区	④街区	⑤街区
キャッセン・ファクトリー	キャッセン大船渡（テナント型複合施設）	大船渡プラザホテル（複合施設）	キャッセン・ストア	おおさなと駅前広場（公共広場兼歩道橋）
敷地 4,700㎡	敷地 4,700㎡	敷地 3,750㎡	敷地 3,750㎡	敷地 5,576㎡
延床 1,235.9㎡	延床 1,235.9㎡	延床 4,436.6㎡	延床 1,426.7㎡	延床 1,426.7㎡
構造 5造平屋建	構造 5造平屋3階分棟建	構造 5造4階建	構造 5造平屋建	構造 5造平屋建
菓子販売やカフェ、菓子作り体験、親子でできるような体験の提供	地元産や地元産材で贈う大船渡の歴史文化を情報発信に活用する飲食店	観光とパンゲット利用で周辺区との連携を促進する大船渡プラザホテル	大船渡の昔からの食やコミュニティを継承する大船渡プラザホテル	大船渡の昔からの食やコミュニティを継承する大船渡プラザホテル
キャッセン大船渡（テナント型複合施設）	大船渡再開発（ショッピングセンター）	キャッセン大船渡（再開発中）	キャッセン大船渡（まちづくり拠点）	
キャッセン・ファクトリー	キャッセン大船渡（テナント型複合施設）	キャッセン・ストア	キャッセン・クリエイティブファーム	
敷地 19,548㎡	敷地 34,419㎡	敷地 3,983㎡	敷地 3,977㎡	
延床 2,077.4㎡	延床 19,741.2㎡	延床 -	延床 989.8㎡	
構造 5造平屋4階分棟建	構造 5造平屋7階分棟建	構造 -	構造 5造4階分棟建	
震災前の小売店等を再建、再開発中	地元産や地元産材で贈う大船渡の歴史文化を情報発信に活用する飲食店	買物を活用し、ウチとソトとが交わり、公園と海に囲まれた、新たなヒート・モノ・コトが育まれる場	買物を活用し、ウチとソトとが交わり、公園と海に囲まれた、新たなヒート・モノ・コトが育まれる場	

Design purpose

目的

大船渡のまちの文化を100年後まで継承すること

Design strategy

戦略

- ・社会情勢や流行などに応じて、変化し続けるだけの受容性と冗長性があること
- ・先行整備する街区をモデルとして、周りの街区整備に活用可能な知見を得ること
- ・ハコモノは整備した瞬間に負債となるという考えから、建物にはお金をかけないこと
- ・代わりに、変化の余地のある外部空間などにこだわること
- ・「コモンズ」を創出するため、「プレイスメイキング」「タウンプロモーション」「エリアマネジメント」の3つの取り組み・活動を行うことと自体をデザインと捉えること



1 Place making プレイス・メイキング

場の魅力を共創すること

空間と場は単に造るものではなく、関わる人たちが育てていくものです。綺麗だったら全ていいわけではありません。良い場とは何か、来街者の印象も交えながら、少しずつ形を考えていくことも重要です。

▶ 試行・波及・啓蒙の連鎖



2 Town promotion タウン・プロモーション

場の価値を伝えること

売上に直結しない賑やかさは疲弊を生みません。販売にとって効果的なプロモーションとは何か考えます。また、事業者の魅力も伝え、「共感」を創出することも重要です。事業者と顧客候補の接点を増やし、商品を磨き、商勢圏が縮退する中で、商勢人口の獲得に繋がります。

▶ 商勢人口の維持・拡大



3 Area management エリア・マネジメント

場の活力を維持すること

日常的に人が来る仕掛けを創りながら、公共と民間の隙間、商業と居住の隙間、隣接街区との隙間を埋めて、より高質なエリアを形成するとともに、それを維持継続するための関係性と体制を構築し、比類ない大船独自のエリアマネジメントを確立していきます。

▶ 投資回収バランスの取れた都市経営



1 Place making プレイス・メイキング

場の魅力を共創すること

空間と場は単に造るものではなく、関わる人たちが育てていくものです。綺麗だったら全ていいわけではありません。良い場とは何か、来街者の印象も交えながら、少しずつ形を考えていくことも重要です。

▶ 試行・波及・啓蒙の連鎖



(1) 先行実施 (例)

① KYASSEN SYMBOL

創えは創産設計に「創産」の意をもたせず同時に、言葉をもろもろシンボルに押し、市民との関わりを深める



② KYASSEN SEVEN COLORS

創えは創産ごとにテーマカラーを設定して、各棟のメインサインに掲げる



③ KYASSEN LANDSCAPE PLAN

創えは創産の周辺街を思い起こす空間や、来街者の憩いになる空間を創る



(2) 顕比・単純化

キャッセンの創産設計モデルとする大創産設計のルール化 (創産街・地区設計の指針)

① 店舗サインについて
切り文字やバックチャネルを用いて、視覚効果を演出。



② 夜間の照明効果
照明は、視認性とバランスに配慮。色や配線の工夫で視覚効果を演出。



③ 境界の設え
道路際の外壁を後退、壁を低し、秋風でゆとりある空間を創出。



④ 付帯施設の調和
色や形状などをコントロールし、商店の景観へ配慮。



(3) 波及・啓蒙

ルールの中で、ここまでいいんだ！こんな使い方が許されているんだ！という言葉を創産し、市民の関わりによって「良い場」を創っていく。



Promotion system

推進体制(案)

方針1~3になぞらえた取り組みを推進していくためには、下記のような推進体制が必要と考える。



④. 柴田 建氏（九州大学大学院 人間環境学研究院 助教）



多プレイヤー連携のまちづくり

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 街区 北九州総合病院 | 7-10 街区 住宅メーカー 17 社 |
| 2 街区 (株)オーエス、大英産業(株) | 8 街区 施設法人 2 社 |
| 3 街区 住宅メーカー 19 社 | 住宅メーカー 1 社 |
| 4 街区 大和ハウス工業(株) | 9 街区 積水ハウス(株) |
| 5 街区 (株)大賀薬局、東宝ホーム | 11 街区 東宝ホーム(株) |
| 6 街区 東宝ホーム | 14 街区 東宝ホーム(株) |

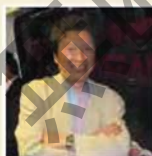


タウンエディターとまちの共同編集



西村 浩
(にしむら ひろし)

株式会社ワークビジョンズ | 代表取締役
一級建築士



二瓶 正史
(にへい まさぶみ)

有限会社アーバンセクション | 代表取締役
一級建築士



柴田 建
(しばた けん)

九州大学大学院人間環境学研究院都市・
建築部門 助教



まちなみ部会の様子

ボン・ジョーノのタウンエディター



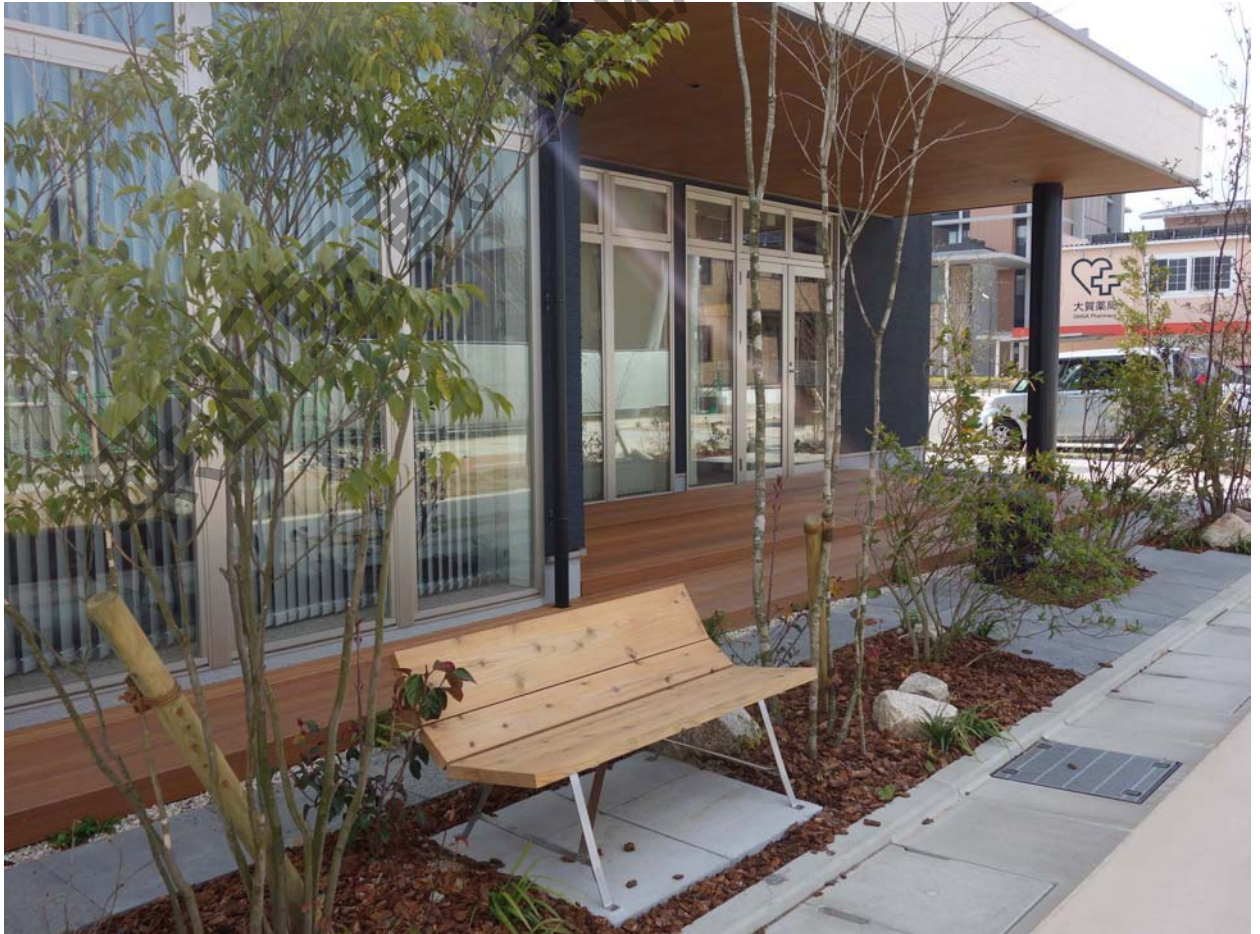
「ラブレター型」デザインガイドとまちの共同編集



広いデッキのある集会所



オープンカフェ







暮らしを楽しむ シェアタウン ボン・ジョーノ



ベッドタウンからシェアタウンへ



まちで過ごす時間がいちばん楽しい

ベッドタウンからシェアタウン

■ 居場所をシェアする

「自宅」と「職場・学校」以外に、自分にとって心地よい居場所を持つことが大切と言われています。このような第3の居場所を「サードプレイス」と言います。BONJONOは、誰もがお気に入りの居場所を持てるよう、まちの中に、多様な魅力にあふれた、出かけたくなる場所をたくさん設けました。

■ 活動をシェアする

単に場所があるだけでは交流は生まれません。BONJONOでは、この多様な居場所を使ってさまざまな活動を行うために仲間づくりを進めています。野菜づくりやDIYなど、仲間と一緒に趣味を楽しみながら、それがまちの魅力につながる、うれしいしくみに満ちたまちです。

■ まち育てをシェアする

BONJONOでは、みんなで公園の芝を張るなど、このまちに住む人・働く人・訪れる人が楽しみながらまちの維持管理に関わるしくみを用意していきます。まちのにぎわいや魅力を自分たちの手で育てることで、まちへの愛着と誇りが生まれます。まち育てをシェアするためのしくみとして、「城野ひとまちネット」という組織をつくりました。

まちをシェアする3つのしくみ



まちをシェアするしくみ ①

まち育てをシェア

ひとまちネット

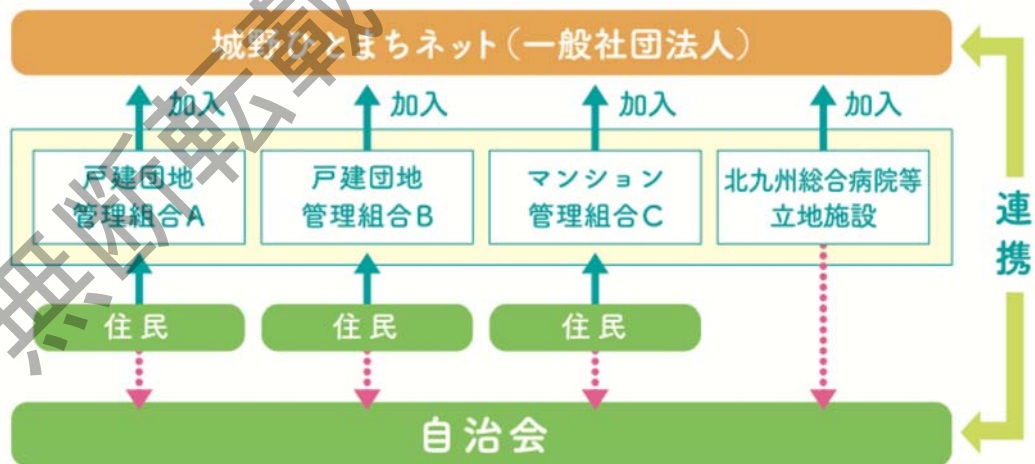


タウンマネージャー まちの管理人

野崎 知美

西部ガス(株)

城野ひとまちネットの組織図



- 一般社団法人(非営利型)のタウンマネジメント組織「城野ひとまちネット」
- 住宅、病院、施設等が街区毎に一団で組織加入(全員参加)
- 会費を抑え、参加型のタウンマネジメント活動
月会費(正会員)・・・ 1,700円(住宅)、5,000～10,000円(施設)

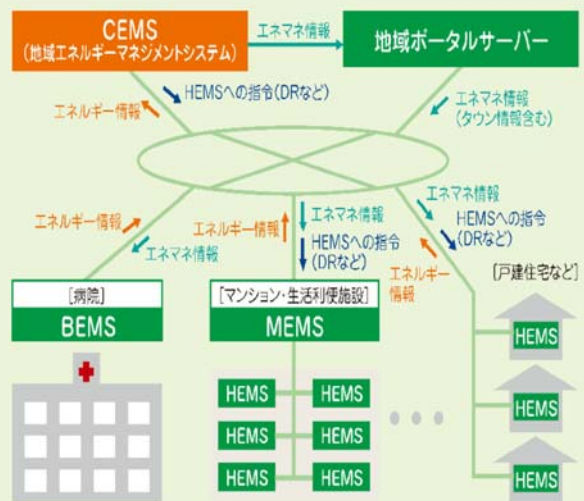
タウンマネジメントの3つの目的



タウンマネジメントの3つの目的

3. エネルギーを賢く使う、持続可能なまちを育む [エネルギーマネジメント]

- ◎各施設店舗や家庭で使うエネルギーの使用情報や発電情報を地域でまとめて収集・分析することで、賢くエネルギーを使うための省エネ情報を提供していきます。
- ◎地域内外の施設・店舗と各家庭をつなぐ情報通信網をつかって、健康管理、子育て支援、高齢者支援等のサポートの仕組みを作ることで、いつまでも安心して暮らし続けられるまちを育みます。



※DR: デマンドレスポンス(需要者応答)



まちをシェアするしくみ ②

居場所をシェア

TETTE・
シェアプレイス



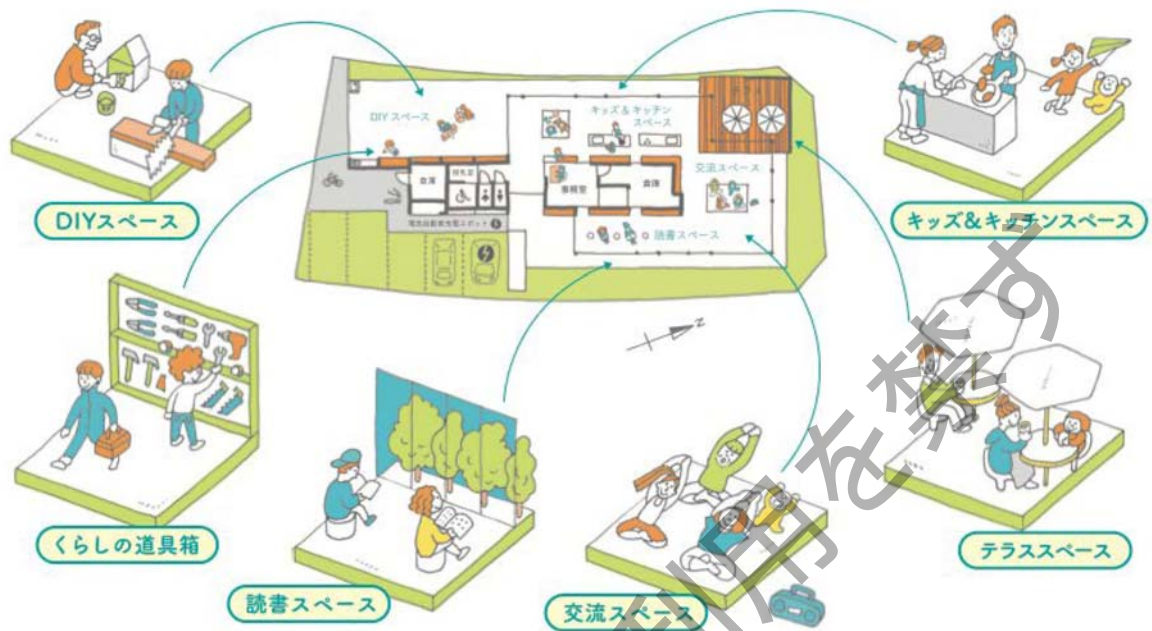
タウンマネージャー まちの育て人

平山 由夏

ネーブルグリーン

くらしの製作所 TETTE

暮らしをつくる道具に出会える、暮らしをつくる仲間に出会える



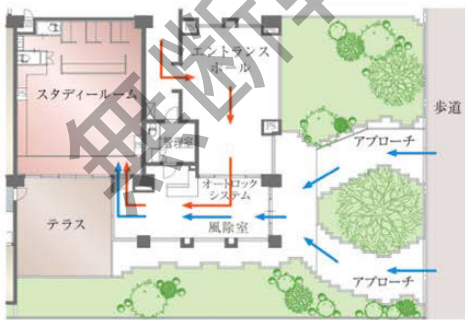




ひとまちネットとシェアするスタディールーム



ボン・ジョーノのまちづくりのテーマである“シェア”サンパーク城野駅前EXIAは、ひとまちネット会員様とスタディールームをシェアします。本を読む、勉強する、パソコンに向かうなど、静かな空間で思い思いの時間に没頭できます。



ご利用時間（お盆・年末年始を除く）

■ ご入居者様：9：00～20：50

■ ひとまちネット会員様：17：00～20：50

スタディールームの入口はマンションオートロックシステムの外となり、スタディールームのご利用につきましては、ご入居者様とひとまちネット会員様のみのご利用となります。詳細は、管理規約集をご確認ください。









まちをシェアするしくみ 3

活動をシェア

くらしラボ



タウンマネージャー まちの仕掛け人

北 崎 剛 司

ストックデザインラボ

くらしラボ

シェアプレイスを自在に使う まちの部活「くらしラボ」



グリーンラボ



DIYラボ



スマートライフラボ



キッチンラボ



ヘルスラボ



メディアラボ

ラボの活動



寄せ植え教室



キッチンをつかって
お料理教室

TETTEの壁一面の
DIY道具







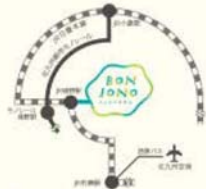




北九州のシェアタウン ボン・ジョーノが発行する情報誌



JR小倉駅からJR日豊本線で城野駅まで約10分



facebookで最新情報を発信しています！
ボン・ジョーノ/くらしラボ

一般社団法人 城野ひとまちネット
開館時間:10:00~18:00
住所:北九州市小倉北区東城野町5-1
TEL:093-941-1170
Email tette.bonjono@tiara.ocn.ne.jp
http://www.bon-jono.com



2017年もボン・ジョーノを
どうぞよろしくお祈いします！



「シェアタウン」をテーマに新しいまちづくりが進んでいる。みんなの未来区BONJONOボン・ジョーノ。昨年は春のまちみらきを皮切りに多くの方に協力いただきました。本当にありがとうございました！今年も夏にちなみ、もっと大きく羽ばたきます！！新しい施設や店舗も登場します。私たちの暮らしがもっとよくなるよう、美しいこと・好きなことをいろいろな形で実現していきます。ボン・ジョーノならではの、さまざまなコラボレーションにどうぞ期待ください。本年もどうぞよろしくお祈いします！



くらしの製作所TETTE



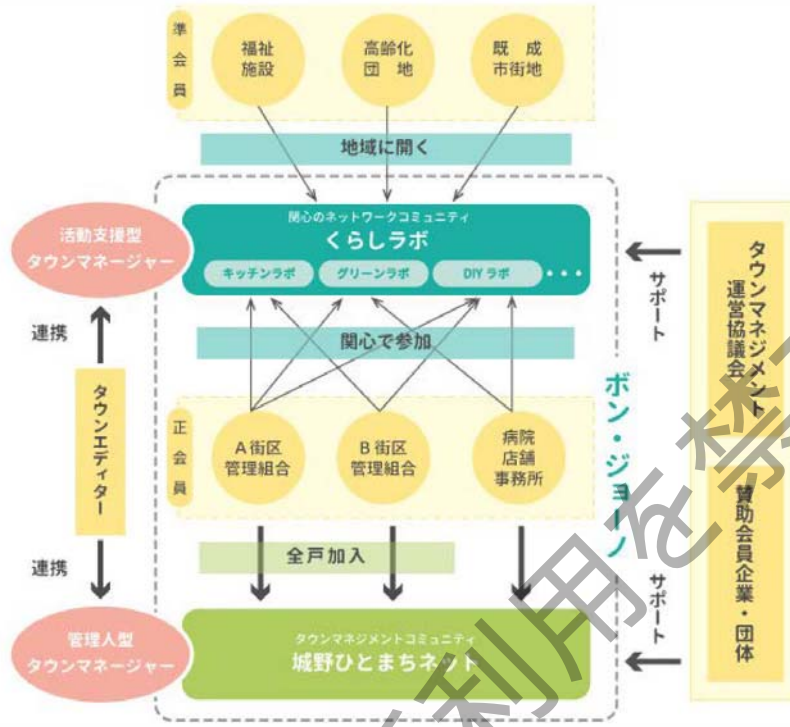
くらしの製作所TETTE（テッチ）はコミュニティ活動の中心となる集客施設、DIYやガーデニング、料理などの道具と活動スペースを備えています。壁をとりはらった開放的な空間なので、いつでも気軽に立ち寄り、仲間と交流することができます。

TETTE利用会員（準会員）募集中！

くらしの製作所TETTEでは、正会員（ボン・ジョーノ居住者、施設・店舗スタッフ含む）以外の、地域住民の方々でもTETTEの施設をご利用いただけるよう準会員制度を設けています。年会費1,000円で、キッチンスペースや交流スペース、DIYスペースなど1時間単位でご利用いただけます。くわしくは城野ひとまちネットまでお問い合わせください。

☎093-941-1170（城野ひとまちネット）

エリアで閉じたTMO+地域に開いたネットワーク型コミュニティ



まちは未来の実験室だ！



Cafe&Bar

TETTE



8/28 MON~9/10 SUN 16:00~22:00
くらしの製作所TETTE/TEL.093-941-1170



スタッフ
丸谷 真一郎

TETTEが使われていない時間帯をカフェとして活用することにより、地域の人たちのコミュニケーションの場として、もっと有効的に利用できないかと考えています。大人からお子様まで楽しめるメニューを準備する予定です。
今回は、期間限定で2週間のためのイベントとなります。皆様のご意見をお聞かせ下さい。

無断転載・無断利用を禁ず